

様式第11号（第16条関係）

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業実績報告書

平成31年2月27日

和泉市長 あて

団体名 パソコン会

代表者名 迫田 千鶴

所在地

電話

平成30年4月11日付け和泉公民第160号で交付決定のあった支援金に係る事業の実績報告について、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第16条の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 40,624 円
(うち、対象経費 40,624 円)
2. 交付決定額 20,000 円
3. 添付書類
(1) 事業報告書（様式第12号）
(2) 収支決算書（様式第13号）
(3) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業報告書

<p>事業の名称</p>	<p>障がい者のためのパソコン教室</p>
<p>事業内容</p>	<p>（主な対象者） 和泉市在中の障がい者 （事業の実施期間） 平成30年4月～平成31年3月 毎月第2木曜日 1～4時 （事業の実施場所） 和泉市北部福祉会館 （事業内容） パソコンの技術及びインターネットの利用に関する教室の開催</p>
<p>事業の成果</p>	<p>（参加者・スタッフの人数の状況） 参加者数 のべ60人、 スタッフ数 のべ42人 （参加者の声）事業を受ける前、受けた後 外出する機会があまりなく、家に閉じこもりがちだったが、月に1回の講座がとても楽しい。インターネットが使えるので、それがうれしい。 （事業を実施したことによる目標達成状況及び効果） 障がい者の外出する機会があることで、家に閉じこもりがちの方が外出する機会が増えた。 パソコンの技術を習得し、生活の向上に役立っている。 積極的に社会参加をめざす意欲が出てきた。 （今回の申請事業の反省点） ちょいずに応募することで、たくさんの方に知ってもらえるようになったが、まだまだ参加者が少ない。</p>
<p>課題（今後の方向）</p>	<p>長期欠席者の方が4名おられるが、その方たちは開催場所への交通の便が悪く、教室に通いたくても足がなく、タクシーなどを利用する方もおられ、参加が難しい状況で、どのようにして参加者に来ていただくかが課題です。 サポートしてくださる先生方も高齢化し、サポートできないとおっしゃる方がでてきて、途中で交代された方もいるのでサポーターの先生方の確保が課題です。</p>

（添付書類）事業内容のわかる写真4～5枚（写真は返却いたしません。）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支決算書

事業の名称： 障がい者のためのパソコン教室

1. 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	積算根拠等
支援金	20,000	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	6,000	会費
自主財源	14,624	自己資金
合 計	40,624	

2. 【支 出】

(単位：円)

費 目	金 額	積算根拠等（数量、単価等）
報償費	27,000	パソコン講師謝金（ザ・ネット）24,000円 ボランティア謝金 3,000円
印刷製本費	401	コピー65円、写真印刷代 336円
役務費	3,920	通信はがき、切手代
消耗品費	495	便せん
食料費	2,808	講師お茶代
旅費	6,000	交通費 500円×12回
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	40,624	
対象経費	40,624	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

（添付書類）

- ・ 事業の経費に係る領収書（原本）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。